防災エキスパート『高速道路サポーター』とは

高速道路において、大規模災害が発生した場合は、被害を最小限にとどめ、早期に道路機能を確保する必要があります。これらを円滑に行うためには、被災状況を迅速かつ効果的に把握するとともに、的確な災害復旧活動を実施することが重要です。

「防災エキスパート『高速道路サポーター』」とは、これまで高速道路の業務に携わった方々にボランティアとして会員登録していただき、大規模災害発生時には復旧に関するアドバイスや被災地での補助的な支援活動を、平常時には日頃からNEXCOと顔の見える関係づくりのための交流活動や若手社員への過去の知見の伝承活動等を行うものです。

防災エキスパートの登録要件

①高速道路の業務に携わった経験のある方。

②現場支援を希望する場合は、心身共に健康で、ボランティアとして真摯に活動できる方。対策本部の後方支援を希望する場合は電話対応や記録補助、情報収集補助、その他雑用補助等、ボランティアとして真摯に活動できる方。

③技術支援（専門的知識を活かした支援活動）を希望する場合は、自己の知識を活かし、ボランティアとして誠意をもって協力し、NEXCO社員と協調して活動できる方。

制度を運営する事務局について

本制度の運営にあたっては、公益財団法人高速道路調査会が事務局本部を運営し、全国各地のNEXCOグループのエンジニアリング会社に事務局支部の運営をご協力いただいております。

【事務局本部】
公益財団法人 高速道路調査会 共創事業課
東京都港区南麻布2-11-10 OJビル2階
TEL 03-6436-2090

会員登録について

会員登録につきましては、事務局支部が窓口となっております。

本制度の活動内容に賛同いただき、会員にご登録いただける際には、主に活動を希望される地域の支部へお問合せください。

事務局支部	支部設置会社／担当部署	電話番号
北海道支部	㈱ネクスコ・エンジニアリング北海道／企画統括部　企画部	011-842-3472
東北支部	㈱ネクスコ・エンジニアリング東北／企画本部	022-713-7318
関東支部	㈱ネクスコ東日本エンジニアリング／企画本部　企画部　企画統括課	03-3805-7934
新潟支部	㈱ネクスコ・エンジニアリング新潟／企画統括部　企画課	025-378-5961
東京・八王子支部	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京㈱／経営企画部	03-5339-1712
名古屋・金沢支部※	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋㈱／経営企画部　経営企画課	052-212-4582
関西支部	西日本高速道路エンジニアリング関西㈱／経営企画本部　経営企画部	072-658-2406
中国支部	西日本高速道路エンジニアリング中国㈱／経営企画本部　品質安全部	082-532-1431
四国支部	西日本高速道路エンジニアリング四国㈱／経営企画部	087-834-2349
九州支部	西日本高速道路エンジニアリング九州㈱／土木事業本部　土木管理部	092-771-1442

※平成29年7月1日より、名古屋支部と金沢支部が統合し、名古屋・金沢支部となりました。

防災エキスパート制度の情報は、公益財団法人高速道路調査会のホームページで提供しております。

「EHRF」で検索していただくか、右のQRコードからアクセスをお願いします。

（URL）https://www.express-highway.or.jp/

高速道路の災害復旧支援

防災エキスパート 高速道路サポーター

会員登録のご案内

EHRF 公益財団法人 高速道路調査会
EXPRESS HIGHWAY RESEARCH FOUNDATION OF JAPAN

2023.03

防災エキスパート制度『高速道路サポーター』について

活動内容について

活動内容については下表のとおりですが、今後もNEXCOと協議・調整し、大規模災害発生時・平常時とも、防災エキスパートが活躍できる場を確認していくこととしています。

防災エキスパート活動内容（例）一覧表

		現場支援活動	技術支援活動 《専門知識を活かした支援活動》
平常時	NEXCO交流	●基本点検への参加 （点検関係の会議への参加を含む） ●防災訓練への参加・企画監修 （防災関係の会議への参加を含む） 【例】 ・点検箇所留意点、着眼点・災害履歴 ・復旧計画、被災想定と対応検証 ・防災備蓄確認（非常食等生活品含む）	●社員への知見伝承（技術系・事務系とも） （講演会・講習会・勉強会の講師等） 【例】 ・災害対応留意点・失敗談 ・設計、施工方法の変遷と時代背景 ・難処理物事故対応事例の教訓 ・災害補償の留意点 （技術的または専門的アドバイス）
平常時	会員交流・研鑽	●支部会議への参加 ●防災に関する講演会・研修等への参加 ●ボランティア活動への参加（清掃活動、地域イベントへの参加等） ●現場見学会 ●意見交換会（業務分担・役割確認、課題調整）	
大規模災害発生時※	発災直後	●高速道路等施設の被災状況の把握 （緊急点検要員） ●道路啓開・災対法執行補助　（強制流出要員） ●お客さま避難誘導、食料支援補助、救護補助 ●緊急車両支援補助 ●現地災害対策本部等の後方支援 ●エンジ対策本部支援（会員連絡調整） 【専門知識を必要としない活動例】 ・被災箇所等の点検補助 ・対策本部の連絡要員 ・対策本部等での人的支援活動 （炊き出し、物資の仕分け・運搬、乗捨車両・災対法補償車両整理、近隣住民避難補助等） ・一般道被災情報収集 ・広報計画補助 ・地域指令台通信補助 ・規制材管理支援	●滞留車両流出計画策定支援 （緊急車両走行確保に向けた過去の知見や補償・法令面、交通警察協議等専門的アドバイスをする活動）
大規模災害発生時※	復旧段階	●対策本部後方支援等 ●緊急輸送車両許可手続き支援補助 ●災害復旧記録撮影班 ●大型車両重量・速度制限チェック支援（規制現場） ●国民保護法補助 ●エンジ対策本部支援（会員連絡調整） 【専門知識を必要としない活動例】 ・料金所渋滞時のレーン対応（監視） ・交通管理巡回補助 ・電話対応、記録補助 ・復旧資機材・重機調達支援 ・グループ会社連絡調整補助	●復旧に関する技術・専門的支援 （技術的または専門的アドバイス） 【例】 ・復旧に向けた現地調査や工法立案に際し、過去の知見や専門知識により技術的アドバイスをする活動 ・復旧に際し必要となる用地・管理・補償事務において、過去の知見や法令面から専門的アドバイスをする活動 ・交通規制計画支援

※大規模災害発生時とは、気象庁発表で震度6弱以上の地震が発生した場合、または、高速道路会社等が防災エキスパートの支援を必要と判断し、その参集を要請した場合を指す。
※活動内容の具体的な運用は、NEXCO各支社・事務所、会員の状況等により異なる。

全国の会員登録者数

防災エキスパート制度の開始時に約600名の登録があった会員数は、JHが分割民営化する直前をピーク（約750名）に、現在は、約600名前後で推移をしています。

2023年2月末時点

支部名	北海道	東北	関東	新潟	東京・八王子	名古屋・金沢	関西	中国	四国	九州	合計
会員数（名）	14	68	52	35	75	55	94	21	70	102	586

防災エキスパート制度の沿革

年月		内容
2000年（H12）	7月	JHにおいて防災エキスパート制度が発足 ・事務局本部業務の運営はJHが（財）高速道路技術センターに委託 ・事務局支部業務は各地のエンジ系会社の協力により運営
2005年（H17）	10月	JHがNEXCO3会社に分割民営化 ・事務局本部業務の運営はNEXCOが（財）高速道路技術センターに委託 ・事務局支部業務は各地のエンジ系会社の協力により運営
2009年（H21）	4月	（財）高速道路調査会※と（財）高速道路技術センターが合併 ・（財）高速道路調査会が防災エキスパート制度の事務局本部業務を運営 ・事務局支部業務は各地のエンジ系会社の協力により運営

※（財）高速道路調査会は2012（H24）年4月に公益財団法人へ移行

活動にかかる保険について

防災エキスパートの活動中の傷害等に備え、NEXCO保険サービス（代理店）と保険契約を締結しておりますので、安心して活動していただけます。

活動にかかる経費について

防災エキスパートはボランティア活動のため、基本的に無償での活動となりますが、交通費等の直接経費につきましては、可能な限り支給できることとしています。

その他

①会員登録に際して、入会金や年会費等は発生しません。
②会員の方には、会員証を発行しております。
③会員の方への情報提供のため、会報を年数回発行します。